

## 国民健康保険 被保険者証の更新について

10月1日に国保被保険者証が更新となります。9月下旬に新しい保険証を郵送いたしますので、記載内容を確認の上、新しい保険証で受診してください。

今年の新しい保険証は、一般用が空色、退職者用が桃色となります。

なお、これまでの保険証(一般用：藤色、退職用：黄色)は9月30日を過ぎると使用できなくなりますので、間違いのないよう破棄してください。

また、高齢受給者証(若竹色)をお持ちの方は、保険証とあわせて医療機関の窓口にご提示ください。

国民健康保険事業は、皆様の保険税にて運営されておりますので、納税にご理解いただき、未納の方は早期納税にご協力をお願いします。

## 広げよう、献血の輪!

献血にかかる時間は、受付から採血後の休憩まで約40分。そのわずかな時間によって、大切な命を救うことができます。移動採血車による全血献血が次の日程で行なわれます。

- 月 日 9月26日(金)
- 受付時間 午後1時30分～3時30分
- 受付場所 立科町老人福祉センター  
機能訓練室
- 持ち物 献血カード又は献血手帳  
(無い方は、運転免許証や



健康保険証など本人確認のできるもの)

※薬を飲まれている方は、薬の確認をさせていただくことがあります。

### 今年より、献血の受付方法が変わります

- ①本人確認として、指認証の登録が始まりました。
- ②問診が、今回より紙ではなく、タッチパネルで行っていただくようになります。

## こちら 地域包括支援センターです! **福祉係**

### 9月は認知症高齢者対策・高齢者虐待防止県民運動強調月間です!

認知症とは、病気などが原因で脳の働きが悪くなり、様々な障がいが起こり、生活するうえで支障がでている状態を指します。

厚生労働省の調査では、65歳以上の7人に1人が認知症とされ、誰もが認知症になったり、その方々に接する可能性があります。認知症への理解を深めて適切に対処できるようにしましょう。

#### 〈認知症のサイン〉

- 忘れていることを自覚できない
- 出来事の記憶が丸ごと消える
- ヒントを出しても思い出せない
- 年次や日付、季節がわからなくなる
- 道具の使い方を忘れる



#### 〈認知症は早期の対応が大切です〉

認知症は早期の治療や適切なケアによって進行を食い止めたり、改善できる場合があります。しかし、本人は自覚できないことが多く発見が遅れてしまい症状が進行してしまふことがあります。家族が気になる症状があれば受診して原因をはっきりさせる必要があります。

#### 〈認知症の方も介護する方も笑顔で暮らすために〉

認知症になると今までできていたことを間違えたり、身に覚えのない物忘れを指摘されたりするようになり、不安やいら立ちを感じるが多くなります。そんな時、周囲の人が訴えを聞き、さりげなくフォローすることで認知症の進行が抑えられ介護者の負担も軽減されます。

悩んだら  
抱え込まず  
周囲の人に  
相談しましょう



町でも物忘れ相談会を実施しています。かかりつけ医や地域包括支援センター(役場福祉係)に相談したり、認知症コールセンター(電話 0268-23-7830)などご活用ください。認知症コールセンターでは、日曜日、祝日、年末・年始を除く午前10時～午後5時に無料で認知症介護の専門家や介護経験者などが相談に応じます。